

平成29年度駐日各国大使の大分県視察

平成29年11月
外務省儀典官室

1 開催概要

平成29年10月30日から31日まで、外務省は大分県との共催で駐日大使夫妻等の大分県視察を実施しました。儀典官室では、毎年度地方自治体と連携して地方視察を実施しています。

2 参加者

駐日各国大使夫妻等 15か国23名

(アルメニア、パラオ、ケニア、ガーナ、タジキスタン、インド、エチオピア、フィンランド、インドネシア、ボツワナ、スロバキア、リビア、ナイジェリア、タイ、トーゴの各大使)

3 訪問日程

10月30日(月) 宇佐神宮, 儀典長主催昼食会, 八丁原発電所, 県知事主催歓迎夕食会

10月31日(火) 別府海地獄, 日田梨園・選果場, 三和酒類日田蒸留所, 社会福祉法人「太陽の家」, 立命館アジア太平洋大学

4 各視察先の概要

<第1日目>

(1) 宇佐神宮(宇佐市)

新緑の杜に包まれた早朝の威厳に満ちた静かな神宮で、宮司から説明を受けました。

また、美しく歴史深い建築、荘厳な雰囲気堪能しました。地元TVによるインタビューもあり、神仏習合発祥地である宇佐神宮の歴史の奥深さ・威容とともに、国東エリアの魅力の一端に触れることができました。



(2) 儀典長主催昼食会(由布市)

由布院の静かな佇まいに包まれた老舗温泉旅館にて、地元食材をふんだんに用いた食事が供され、参加大使夫妻ほか、大分県副知事を含む県側ご来賓との意見交換が活発に行われました。歴史と趣を備えた建築や美しい庭園を眺め、美食に舌鼓を打ちつつ、終始和やかなムードに参加者同士も一段と打ち解け、本視察に対する大使達の期待が一層膨らんだようでありました。



(3) 八丁原発電所(玖珠郡九重町)

豊かな地熱資源の活用により、再生可能エネルギーの自給率で日本一を誇る大分県の中でも、ここ八丁原発電所は地熱発電所として国内最大であり、純国産クリーンエネルギーの有効利用という観点から、自国で地熱発電所を持つ大使は勿論、他国の大使方も大変強い関心を示して視察・説明に聞き入っていました。



(4) 県知事主催歓迎夕食会(別府市)

地元出身で世界的に活躍する和太鼓グループによるオープニング演奏，県知事の歓迎挨拶に始まり，大分の山海の珍味が贅沢に並んだ夕食会になりました。大分県側来賓と大使方との積極的な懇談・交流の場としても賑わいました。話題は，各視察先や各国と大分県・各市とのつながり，観光・ビジネス促進等多岐にわたるものとなり，人脈形成の促進につながる場として貴重なひとときになりました。



<第2日目>

(1) 別府地獄観光(別府市)

「おんせん県大分」を代表する温泉地「別府温泉」の「海地獄」で，地面から立ち上る湯煙と，硫酸鉄により美しいコバルトブルーの色に映る不思議な光景を，早朝の風とともに楽しみました。別府温泉の歴史にくわえ 2018 年大分県にて企画開催予定の「おんせんサミット」などの解説にも耳を傾けました。



(2) 日田梨狩り体験・選果場視察(日田市)

大玉で色や形が満月に似ているとして海外でも人気の「日田梨」狩り体験に挑戦しました。日本で果物狩り、まして梨狩りは初めてという参加大使ばかりで、梨の生産量、育成方法、衛生面での留意事項、海外輸出展開等、質問が相次ぎました。新鮮な梨を味わい、梨狩りを体験した後は、選果場で、梨の選別、バーコード管理、光センサー測定及び検品等徹底した管理と工程を視察しました。豪雨被災から梨園復興に向けたJA 部会長の丁寧な説明に聞き入るとともに、梨園関係者の方々による歓迎に、大使方からも感謝を込めた声援と笑顔がこぼれました。



(3) 三隈川屋形船昼食(日田市)

日田の風物詩の一つと言われる三隈川に浮かぶ屋形船上にて昼食をとりました。船上をわたるそよ風を感じつつ、日田市長による歓迎挨拶と日田市の概要を聞かせていただきました。清らかで豊かな水のお蔭で、水郷日田の豊かな農産物や酒類が育まれるとのことでした。快晴の屋形船上からは想像しがたい今夏の豪雨被災を乗り越え、復旧・復興に向け前進しているエネルギーを、大使方も肌で感じていました。



(4) 三和酒類(株)日田蒸留所(日田市)

日本屈指の名水の地に数えられる日田市の焼酎蒸留所に立ち寄りました。CEO による説明を聞きながら、焼酎、麦酢(ノンアルコール)を試飲し、日本酒にとどまらない、日本独自の焼酎製法を聞き、高まる日本食人気を支える、豊かな自然の恵みがもたらす酒類文化の豊かさを体感しました。



(5) 社会福祉法人「太陽の家」(含むロボスーツのデモ実施)(別府市)

創設者である故中村裕医師の理想・理念である「No Charity, but a Chance !」を守り実践している同法人を訪問し、関連企業で働く方々(車イスマラソン・メダリストやパラリンピック選手でもおられます)に、仕事とトレーニングの両立や職務労働環境等について多くの質問が出るなど、活発な意見交換が行われました。

また、サイバーダイン社からは自立動作支援ロボスーツのデモの実践があり、大分県ならではの温泉治癒と組み合わせたユニークなツーリズムの試みについての説明もありました。



(6) 立命館アジア太平洋大学(別府市)

日本人学生と各国からの留学生がほぼ同数という、国際色豊かな教育現場を訪問し、『地方から世界へ、世界から地方へ』というテーマのもと、各国大使達と学生達は地方活性化や観光促進等について、自由闊達な議論がなされました。その後、各国大使と学生達が直接懇談するセッションが設けられ、自国からの学生と各大使の間で話が弾み、2日間の視察の締めくりに相応しい和気藹々とした時間を過ごされました。



(了)